

# 山口県感染症発生週報

(第28週: 2019年7月8日～7月14日)

## 1 全数把握感染症

### 【2類感染症】

・結核: 8例(柳井4例、周南2例、防府1例、宇部1例)

### 【4感染症】

・重症熱性血小板減少症候群(SFTS): 1例(下関)

・レジオネラ症: 1例(周南)

### 【5類感染症】

・百日咳: 第27週追加 2例(岩国、山口)、第28週 3例(周南3例)

咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。予防接種の対象者で、まだ接種をしていないお子様は早めに接種を行ってください。



ヘルパンギーナ(鈴木小児科医院提供)

## 2 定点把握感染症(5類感染症)

### (1)特記事項

- ・水痘: 岩国、防府で増加し、注意報レベルとなりました。[注意報レベル: 岩国(1週目)、防府(1週目)]
- ・手足口病: 多くの地域で増加しており、過去5年間で最も多い状況です。県全体で警報レベルが続いており、注意が必要です。[警報レベル: 下関(5週目)、岩国(2週目)、柳井(4週目)、周南(5週目)、防府(3週目)、山口(6週目)、宇部(6週目)、長門(2週目)、萩(3週目)]\*
- ・ヘルパンギーナ: 県全体で報告数が増加し、これから流行期である夏にかけてさらなる感染の拡大が予想されることから、本日(7/17)警報を発令しました。[警報レベル: 周南(1週目)、防府(2週目)、宇部(5週目)、長門(1週目)]\*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。  
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuyuiho.php>

### (2)週別発生状況

疾患名	26週	27週	28週	疾患名	26週	27週	28週
インフルエンザ	0	0	6	ヘルパンギーナ	149	194	280
RSウイルス感染症	10	10	16	流行性耳下腺炎	5	3	7
咽頭結膜熱	13	17	17	急性出血性結膜炎	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65	44	49	流行性角結膜炎	2	2	4
感染性胃腸炎	191	140	180	クラミジア肺炎	0	0	0
水痘	5	9	10	細菌性髄膜炎	0	0	0
手足口病	519	717	778	マイコプラズマ肺炎	5	0	2
伝染性紅斑	33	16	21	無菌性髄膜炎	0	0	1
突発性発しん	29	23	28	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0

### (3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	5	0	0	1	0	0	0	0	0	6
RSウイルス感染症	6	0	0	7	1	1	0	0	0	16
咽頭結膜熱	6	1	0	4	1	1	2	0	2	17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	7	1	10	2	9	8	0	0	49
感染性胃腸炎	20	8	2	60	4	21	47	3	15	180
水痘	0	5	0	1	3	1	0	0	0	10
手足口病	126	32	28	281	64	48	108	39	52	778
伝染性紅斑	3	0	0	4	1	4	8	1	0	21
突発性発しん	3	0	1	15	0	2	4	2	1	28
ヘルパンギーナ	41	9	7	74	73	10	45	12	9	280
流行性耳下腺炎	3	0	0	3	0	1	0	0	0	7
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	1	0	1	0	2	0	0	4
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 3 感染症発生動向調査における病原体検出情報

・重症熱性血小板減少症候群(SFTS): 重症熱性血小板減少症候群ウイルス(検体採取週 第28週)が検出されました。